

地方港湾 新宮港



○概要

新宮港は和歌山県南部の新宮市と那智勝浦町にまたがり、古くは捕鯨の基地として利用され、明治の頃には大阪商船等の定期船の寄港地として栄えました。

大型クルーズ船に対応するため、岸壁の機能強化を行い、対策を完了しました。

現在は、「津波から「逃げ切る」支援対策プログラム」に基づき、既設防波堤の改良（粘り強い化）を進めています。

また、港湾施設の適切な維持管理のため、老朽化対策を進めています。

○事業箇所及び事業主体

事業箇所：新宮市、那智勝浦町

事業主体：和歌山県

凡例
— 整備中
 — 完了